

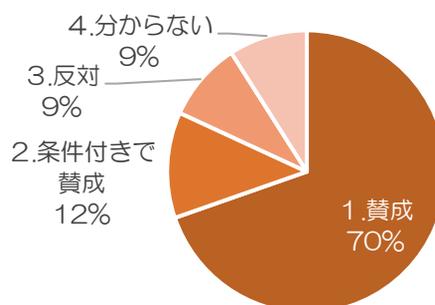
「諏訪湖の日」制定に関するアンケート 集計結果

資料 2 - 2

実施期間：平成31年3月29日～4月12日まで
 回答数：33（うち団体数26）

設問① 諏訪湖の日の制定についてどのように考えますか？（一つだけ回答）

項目	回答数
1.賛成	23
2.条件付きで賛成	4
3.反対	3
4.分からない	3
合計	33



設問①-1 2.条件付きで賛成の理由（自由記載）

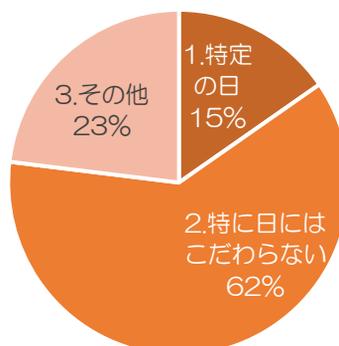
- 本当に必要なのか？制定することによってどう変わるのか？制定の位置付け（趣旨、目的）が諏訪湖に感謝の日？本質は水環境保全の住民の意識向上？のどちら？条例とかなの？単なるそういう日なの？効果があるの？その辺の詰めが必要
- 他の諏訪湖関係の活動との調整を十分に行い、関係者の負担増を避ける。
- 継続的・日常的な行動の醸成に資するものであること。
- 今実施しているイベントに「諏訪湖の日」の冠がつくだけなら反対

設問①-2 3.反対の理由（自由記載）

- （設問⑦の自由記載欄に記載：以下抜粋）
 「諏訪湖の日」を制定したことにより縛られてしまい「ねばならない」が先行することも危惧される。一年を通じて観光客を含め特に市民がゆっくり、のんびり、水に親しみながら雄大な景色を楽しめる場所として諏訪湖があってほしい。だから敢えて「諏訪湖の日」にこだわらず、「諏訪湖への関心をいかに日常に持ち込むか」を考えた方がよいのでは。「諏訪湖の日」の制定の良さを一概に否定するものではないが、少子高齢化の時代であり、「〇〇日」制定が現実及び将来の課題解決への起爆剤という考えから脱却する発想を持ちたい。諏訪地域には諏訪湖に関心のある団体が沢山あり、それらの団体が主催する行事を振興局は広く発信する手助けや、大きい行事を振興局がする代わりに財政支援をしたりして、「民」の自発的活動をいかに支援できるかを「官」は考えるべきでは。「諏訪湖の日」を制定することは簡単だが、それをどのように継続していくのかということも決める段階で考える必要があるのでは。
- 日を制定して何を行っていくのかよく分からない。日を制定することに何のメリットがあるか分からない。
- 諏訪湖の日は不要、一部の意見だけで既成事実化することに反対

設問② 「諏訪湖の日」を制定するとしたら、いつが適当ですか？（一つだけ記載）

項目	回答数
1.特定の日	4
2.特に日にはこだわらない	16
3.その他	6
未回答	7
	33



設問② - 1 「1.特定の日」の期日及びその理由（自由記載）

- 5月29日：諏訪湖一斉清掃のうち5月の開催日。市民が諏訪湖畔を掃除することから関心を持たれやすい
- 7月7日：ラッキーセブンで覚えやすい。
- 9月23日：諏訪湖一斉ウォークの日
- 10月1日：諏訪湖流域下水道事業一部供用開始の日。暑くもなく寒くもなく、行事に取り組みやすい。また諏訪湖の浄化にとって意義ある日であるため。

設問②-2 「3.その他」の内容（自由記載）

- 週間・月間でもいいのではないかと。
- 日ありきでなく、諏訪湖の日に何をするかで変わる。意味のない諏訪湖の日ならいつでもいい。
- 諏訪湖の行事（花火大会等）に合わせた制定とし、観光誘致を推進
- ヒシ発生の最盛期又はヒシ除去開始日

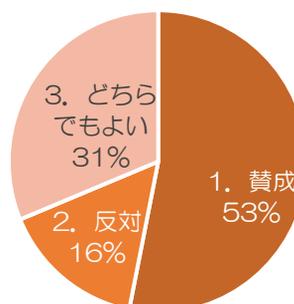
設問③-1 ②の設問で「2又は3」と回答した方にお聞きします。諏訪湖の日の時期はどのような時期が適当ですか（1つだけ回答）

月	回答数	理由
3月	1	・春の出水までの時期に（ゴミゼロの日にとらわれない）
5月	3	・イメージ的には初夏 ・観光（グリーン）シーズンを控え、諏訪湖周辺も賑わうため
7月	3	・暑く親水しやすく8月より行事が少ないから ・市民、住民が諏訪湖に集まりやすく、諏訪湖の水に関心を持てる（水の汚れを実感できる）時期だから ・川の日が7月7日で海の日が7月第3月曜日。川と海をつなぐ水の流れをイメージして第2週くらいにしたらどうか。
8月	3	・花火大会が有名なので ・水の日、お舟祭り、花火大会など大きなイベントがあるため ・観光客も参加できるイベントが開催できる時期。例えば8月の花火大会など
9月	1	・諏訪湖湖上花火大会も終わり、水温も下がりがつつ、ヒシ・アオコモ減少・静けさが戻り諏訪湖を見直しやすい季節だと思います。
10月	4	・諏訪湖マラソンの開催日であれば地元の方々だけでなく、多くの方々に情報発信や考えていただく機会が提供できると思うため ・最近の夏は異常に暑く、ゴミ拾いなどの行事を行うには爽やかな秋の気候が最適 ・諏訪湖マラソンや一斉清掃があり、多くの人に周知しやすく、春より準備期間が取りやすい
11月	1	・気候もほぼ良くて関連行事が少ない月
春～秋	1	・イベントを行うのによい季節がいい
5・10月	1	・諏訪湖一斉清掃の時期に合わせたらどうか
6～7月	1	・親水時期として無理なく、夏休みの始まりを控えた時期

設問③-2 「2. その他の内容」について（自由記載） 回答なし

設問④ 諏訪湖の日を制定する場合、諏訪湖創生のキャンペーン期間（週間・月間）に関心のある団体等が制定の趣旨に沿ったイベントを行うことについて、どのように考えますか。（1つだけ回答）

項目	回答数
1. 賛成	17
2. 反対	5
3. どちらでもよい	10
合計	32



設問④-1 「1.賛成」の理由（自由記載）

- 綺麗にしようとする意識が高まる。
- 各団体の連帯と活動を広くアピールできる機会と共に、活動のスキルアップも期待でき、より一層諏訪湖に対して関心・浄化の啓蒙に繋がると思います。
- 良いことだと思う。
- 現在多くの団体による様々な取組がある。期間を設けることでそこに合わせられる活動もあると思う。
- 賛成であるが、イベント実施が主たる目的にあることを危惧します。参加者が主旨を理解され、参加いただけることを期待します。
- 広く周知するためにも必要
- 創生に対する住民の関心が高くなる。

設問④-2 「2.反対」の理由（自由記載）

- 各団体の活動を年間に割り振りしてスケジュール化する（月間。週間と言った短期間限定しないが、月ごとの特徴を持たせる）
- 現在諏訪湖一斉清掃及び河川愛護事業にも参加しているので十分だと思う。
- 毎月の同じ日にしたらどうか。
- 日の制定でよい。その前後にイベントをするのは問題ない。

設問⑤ ④の質問で「1又は3」と回答した方にお聞きします。どのようなイベントが実施されることを期待しますか。

項目	回答数	具体的な内容
諏訪湖の浄化・美化活動	14	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中自主的なごみ拾い活動を促す。 ・ごみ拾い ・魚の放流 ・一斉清掃、諏訪湖周3市町だけでなく岳麓の河川清掃も合わせられるとなおよい。 ・マイナスイメージの排除イベント ・ごみの無い諏訪湖WGの企画と連動して、水辺のごみ調査を実施 ・家庭等でごみを拾いながら、一定距離をウォーキング ・諏訪湖の日に合わせて、今までになく大規模に行う美化作戦（企業団体、学校、一般市民全て巻き込むくらいの）
子どもが楽しめる行事	7	<ul style="list-style-type: none"> ・カヤック・カヌー体験講習会を行い、湖・河川を身近に感じてもらう。 ・子どもが行くということは親も同伴するので大勢の参加が見込める。 ・カヌーなど ・既存の各種団体の取組のうち子どもたちに楽しんでもらえそうなものをピックアップする。 ・親子連れ来訪者の増加期待
新たな大規模イベント	3	<ul style="list-style-type: none"> ・全国のカヤック、カヌーイストに声掛けして、湖上、河川で大パレードを展開 ・将来的に全国規模の知名度となるような毎年開催のイベント検討
諏訪湖の観察会・学習会	11	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、諏訪湖創生に小さいころから関心を持ってもらう。 ・小中学生対象の観察会や学習会が必要
その他	6	<ul style="list-style-type: none"> ・1と4を合わせたような美化活動を通じて諏訪湖の生態系を学ぶなどの学習会があれば効果的と考えます。 ・大きなイベントは避けた方がよいと考えます。 ・湖畔でのミュージックフェス ・どのような内容でも諏訪湖に関係すれば良い。 ・やみくもにイベントを企画するのではなく、「どのような成果を上げたいのか」という目標をはっきりさせてから考えるべきでないか。
	41	

設問⑥ 「諏訪湖の日」を制定する場合、住民の関心を高めるためのアドバイスがあれば記載願います（自由記載）

- 諏訪湖創生ビジョン推進会議発行「諏訪湖通信」やメディアなどで、行政の取組や各団体の活動を紹介しながら、広域に「諏訪湖創生ビジョン」の取組、主旨を告知し、広く一般に関心を持ってもらう。
- 誰も諏訪に住んでいれば、人として諏訪湖に関心は持っていると思います。しかし毎日の仕事、生活に追われ、忙しければ我々のように諏訪湖に強く関心は示さないと思います。関心があるのは我々は関係者だからと思います。諏訪湖につながる川や側溝がくさい・汚いとなれば別ですが、諏訪湖畔を歩く人も走る人もジョギングロードが整備されているかの方が関心が高いです。現在の諏訪湖くらい綺麗ならばあまり関心もなくそれでいいと思っています。泳げる諏訪湖と言っても泳ぐよりは岡谷の水門の近くの湖畔公園で子供を遊ばせたり、小さな子供に公園の水で水遊びをさせています。諏訪湖の周りにもっと水遊びができるところが何か所かあれば、諏訪湖でなくとも親はそれでいいのです。暑い夏に安心して安全な場所で水遊びができることを求めています。小学生は諏訪湖に近寄れるのは親と一緒にの時だけです。コイやフナを釣る子どもはいません。湖と親しむ習慣がないから関心も低いです。中学校、高校になると漕艇でもやれば諏訪湖に関心を持ちますが、水があつて漕艇ができれば、諏訪湖の水が汚いと思わなくなります。諏訪湖に対しての関心は高まりません。また今くらいの水質や諏訪湖の状態であれば関心は持たれません。関心を高める必要もないのかもしれない。
- 標語募集、のぼり
- 子どもたちにとってゴミ拾いだけではつまらないと思うので、親子で参加して楽しめるイベントを併せて行えるとよい。
- 日ごろ諏訪湖との関連が高まるような取組が必要（諏訪湖に通ったときには自分でスタンプを押して楽しめるような諏訪湖カードなど）。自己満足ではあるが諏訪湖への愛着は深まると思う。
- 行政主導ではなく住民主導的な方策を取り入れた方が関心が高まる。
- 小中学生に関心を持ってもらえる方策がよいのでは。
- 諏訪湖浄化や利活用を考える上で重要なのは、いかにして水辺に人を呼ぶのかという点ではないか。まずは諏訪湖の周りに来てもらい、現状を知ってもらうことを大前提として企画しないと関心が寄せられず一過性のものに終わってしまい、次につながらないのではないか
- 諏訪湖の日の数週間前からテレビCM（県内ローカル）を流す。出演は地元小学生など。
- 講演会やシンポジウムなどもよいが、基本的には水辺で行う企画でないとうちの目的は達せられないのではないか。水辺で行う体験型の企画を中心に考えた方がよい。
- 楽しみながら学べるイベントを考えれば関心も高まる。
- 著名人・タレント等を巻き込めれば関心度が高まるのでは。
- 新たに大規模イベントを開催して一時的に市民の関心を喚起するという方法もあるが、それよりも今まで継続されてきたイベント（町内会での清掃や諏訪湖に関する市や県、民間のイベント等）を湖の日に集約して実施した方が、諏訪湖に一定の関心のある市民に更なる関心を向けてもらえる。

設問⑦ 「諏訪湖の日」の制定に関するご意見、ご要望があればお書きください（自由記載）

- 潜水艦のような乗り物で、今の諏訪湖の状況を見ていただき、今後どう変わっていくかを観察できるようにする。なぜそのようなことを考えたかという、取り組む側が今以上に真剣に取り組まなければ、今の成果が明確にならないから。
- 唐突に「諏訪湖の日」を制定しても、一方的な制定になってしまう気がします。やはり湖周広域（山麓、上下流域）に諏訪湖の現状・存在価値を認識してもらいながら、機運の高まりを判断しつつ好機を見出すのが良い。

➤ 本当を言えば、諏訪湖の日がなぜ必要なのか分かりません。将来に未来に諏訪湖を残すならもっとやることがあるはず。浅くなっている問題、ヒシの繁茂の状態や、今の諏訪湖をどう将来に残すかの方法です。一般の人は諏訪湖がどうなるかが身近な問題として考えられないのです。富士山の登山道にゴミを捨てる人が多くて、ゴミが散乱しているとすれば登山者のマナーが悪い、環境破壊だ。世界遺産なのにと全国からボランティアが駆けつけてゴミを拾い、登山者もゴミを拾いマナーも向上し、瞬く間にきれいになるでしょう。これは富士山の価値観です。今の諏訪湖が汚い諏訪湖からここまできれいになり、ゴミやヒシの問題を除けばこのレベルで十分なのかもしれません。関心を持って水環境保全等に対する住民意識の向上をどのレベルにするのか、どんな諏訪湖にするのが分かりません。昔の汚い諏訪湖に戻っているならば必要なのかもしれません。諏訪湖の日を制定して諏訪湖に人を集めるなどの活性化ならばそれはそれです。住民意識が低いから制定するのでしょうか？今、行政として県が取り組まなければならないのは、諏訪湖が浅くなっている問題や、諏訪湖の水流など民間ではできないことをやっていただきたい。また観光や地域住民の人がもっと諏訪湖を利用する方法や親しみやすい諏訪湖を考えるビジョンを作り（たとえば 諏訪湖遊べるマップ、諏訪湖周インスタ映えスポットマップetc）など諏訪湖に人が来てもらうことに力を入れた方がいいと思います。つまりこれも価値観を高めることです。名前ばかり諏訪湖の日なんてつけても人は集まって来ない、関心は高まらないと思います。

➤（設問①-2 反対意見 全文）

当初私は「諏訪湖の日」があるのは単純に良いことだと思いましたが、しかしWGのご意見を讀ませていただいてから制定に対し少し疑問を持ちました。時期とすれば5月頃がいいな～などと考えていましたが、観光シーズンが始まり、行事は目白押し。主催者の負担が大きい割には参加者は分散しがち。「諏訪湖の日」を制定したことによって縛られてしまい、「ねばならない」が先行することも危惧されます。年間行事の表を見るとこんなにたくさんの行事があるのだと改めてびっくりしました。私は一年を通して、観光客を含め、特に、市民がゆっくり、のんびり、水に親しみながら雄大な景色を楽しめる場所として諏訪湖があってほしいと思っています。そこで、ある特定の日、にお祭り騒ぎのようなことをする必要はないな～と感じ始めました。諏訪湖への関心その日だけに終わってしまう、年に一度思い出したような形になりかねない。だから、敢えて「諏訪湖の日」にこだわらず、「諏訪湖への関心をいかに日常に持ち込むか」を考えた方が良いのではと思います。小さな行事で良い。季節も限定せず、内容も対象も様々。折々に市民に発信していく。できることを息長く継続することが大事ではないでしょうか。そこに居るだけでホッとできる場所としての諏訪湖。それにはゴミが無い、きれいな環境は不可欠。アダプトプログラムでの活動も感謝ですが、ゴミ拾いは誰でもできること。ゲームやスポーツ感覚でゴミ拾いを楽しくイベント化した行事も最近開催されたことがあります。その辺りで官民の知恵が合流するといいいかな～と思います。「諏訪湖の日の制定」の良さを全面的に否定するものではありませんが、少子高齢化の時代です。「〇〇日」制定が現実及び将来の課題解決への起爆剤という考えから脱却する発想を持ちたいと思います。諏訪地域には諏訪湖に関心のある団体がたくさんあります。それらの団体が主催する行事を振興局は広く発信する手助けや、大きい行事を振興局がする代わりに財政支援をしたりして、「民」の自発的活動をいかに支援できるかを「官」は考えるべきではないでしょうか。「諏訪湖の日」を制定することは簡単ですが、それをどのように継続していくのかということも決める段階で考える必要があると思います。

➤ イベント行事を他のイベントとは異なる形でのコンセプトを強調できるようなプロデュースを望みます。

➤ 制定が目的でなく、諏訪湖の日制定を通じて住民の皆様や観光のお客様が諏訪湖について考え、あるべき姿について考え、行動に移すきっかけになればと考える。

➤ 湖週の行政が協力一致した運営等をお願いしたい。

➤ 継続的にニュース等で取り上げてもらうには、毎年行う行事の開始日がよいのでは。

➤ 諏訪湖環境を悪化させている要因を科学的に明確にし、その対策を立てて日常的・継続的に取り組むことが大切。諏訪湖の日を制定すると、イベント的な取組に力を割くことになり、それは諏訪湖がきれいになってからやればよい。諏訪湖がきれいになり周辺の地域も住みやすい状況が生まれ、その結果として諏訪湖の日を作ろうという合意形成がなされるのであれば制定には賛成。今は諏訪湖の日ありきで話が進んでいるようで、順序が逆だと考える。WGを作って検討することと制定することは別の話。行政、民間等関係団体のみが盛り上がるのではなく、地域住民が取組の趣旨を理解し、諏訪湖創生に対して積極的に関わっていけるような仕組みを作れるとよい。併せて一過性でなく継続的な取組ができるものが望ましい。

※個人が特定される可能性のある記載は省略しました。